

2020年度第2四半期決算発表からみる 新型コロナウイルス(COVID-19)の影響

ブラジル日本商工会議所
コンサルタント部会
吉田幸司

2020年8月12日

プログラム

1. Petróleo Brasileiro S.A. – Petrobras
2. EMBRAER S.A.

【ご注意】

ここに記載されている情報は作成時点で各社のHP等で公表されている一般的な英語の情報を元に日本語で取りまとめたものとなります。出来る限り正確に取りまとめるように心がけていますが、開示されている情報によっては異なる数値等が公表されている場合や解釈によっては違うように捉えられる場合もあり、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は皆様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても資料作成者は責任を負うことが出来ませんのでご了承下さい。

Petróleo Brasileiro S.A. – Petrobras

Petrobras- 会社概要

➤ 1953年に設立。

➤ 従業員数は46,416人

(2019年12月時点は58,000人(2019年Fact Sheetより))

➤ 5つの戦略的な柱

1. 使用資本利益率の最大化

2. 資本コストの削減

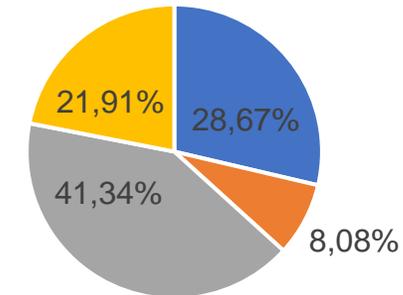
3. 際限ないコスト削減の追求

4. 実力主義

5. 人、環境、安全の尊重

➤ 株主構成 (2020年6月)

株主構成比率



■ Federal government ■ BNDES etc...
■ Non-Brazilian Investors ■ Brazilian Investors

➤ 原油生産量 (天然ガス含む)

2.77百万バレル/日 (6,587本の井戸)

➤ 確認埋蔵量 (Proved Reserves)

95.9億バレル

➤ 石油精製量

1,873,000バレル/日 (13製油所)

➤ その他事業

太陽光発電、風力発電、バイオ燃料、発電事業にも参入

Petrobras– 2020-2024 Strategic Plan (2019/11/28公表)

3つの指標

- TRI（労働災害件数を100万延べ労働時間で除した数値）を1.0未満に（2020/2Q末は0.67）
 - 純負債/調整後EBITDAを1.5未満
 - 連結EVA® (Economic Value Added)増分 26億ドル
- ※計画の前提として今後5年間の最低損益分岐点の原油価格は今後5年間で50USD/bbl、その後は45US\$/bbl

Oil&GAS生産

- 5年間の間に13の生産システムの開始を見込む（すべてディープウォーターもしくはウルトラディープウォーター）

	2020	2021	2022	2023	2024
合計生産量 (Oil&GAS) (百万バレル/日)	2.7	2.9	3.1	3.2	3.5

ファイナンス

- 2021年には、有利子負債600億ドルを維持
- 今後5年は新たな資金調達することなく、資産売却を行い、生み出される営業CFを債務の返済や新規投資に充てていく予定

Petrobras– 2020-2024 Strategic Plan (2019/11/28公表)

低炭素社会及びサステナビリティへの取組

10のコミットメント

1. 2025年までにオペレーション排出量をゼロ成長*
2. 定期的フレアを2030年までにゼロ
3. CCUS(Carbon Capture Utilization and Storage)プロジェクトにおける2025年までに最大40MMトンのCO2再注入
4. E&Pセグメントの炭素強度を2025年までに32%削減
5. E&Pセグメントのメタン強度を2025年までに30%-50%削減
6. 石油精製セグメントの炭素強度を2025年までに16%削減
7. 再利用を増やすことに重点を置く事業での淡水回収の30%削減
8. 2025年までに残渣物増加ゼロ
9. 2025年までに生体多様性行動計画のペトロブラス施設内100%
10. 社会環境プロジェクトへの投資の維持

* 炭素に関するコミットメントは、2015年比。それ以外は2018年度比。

環境への取組 (2020/2Q (Petrobras Financial Performance 2Q20))

- 2015年以降CO2総排出量は減少傾向
- ペトロブラスは2020年7月1日にTCFDの賛同企業へ。石油・ガス気候変動イニシアティブ(OGCI)の目標に取組み
- 再生可能ディーゼルテストは成功し、生産開始するために現在ANPの承認待ち。これは通常のディーゼルと比較してGHG排出量を70%削減し、従来のバイオディーゼルよりも燃費が15%高い
- IMO2020基準を満たした低硫黄燃料の船舶燃料の供給により更なる優位性

Petrobras– COVID-19対応策

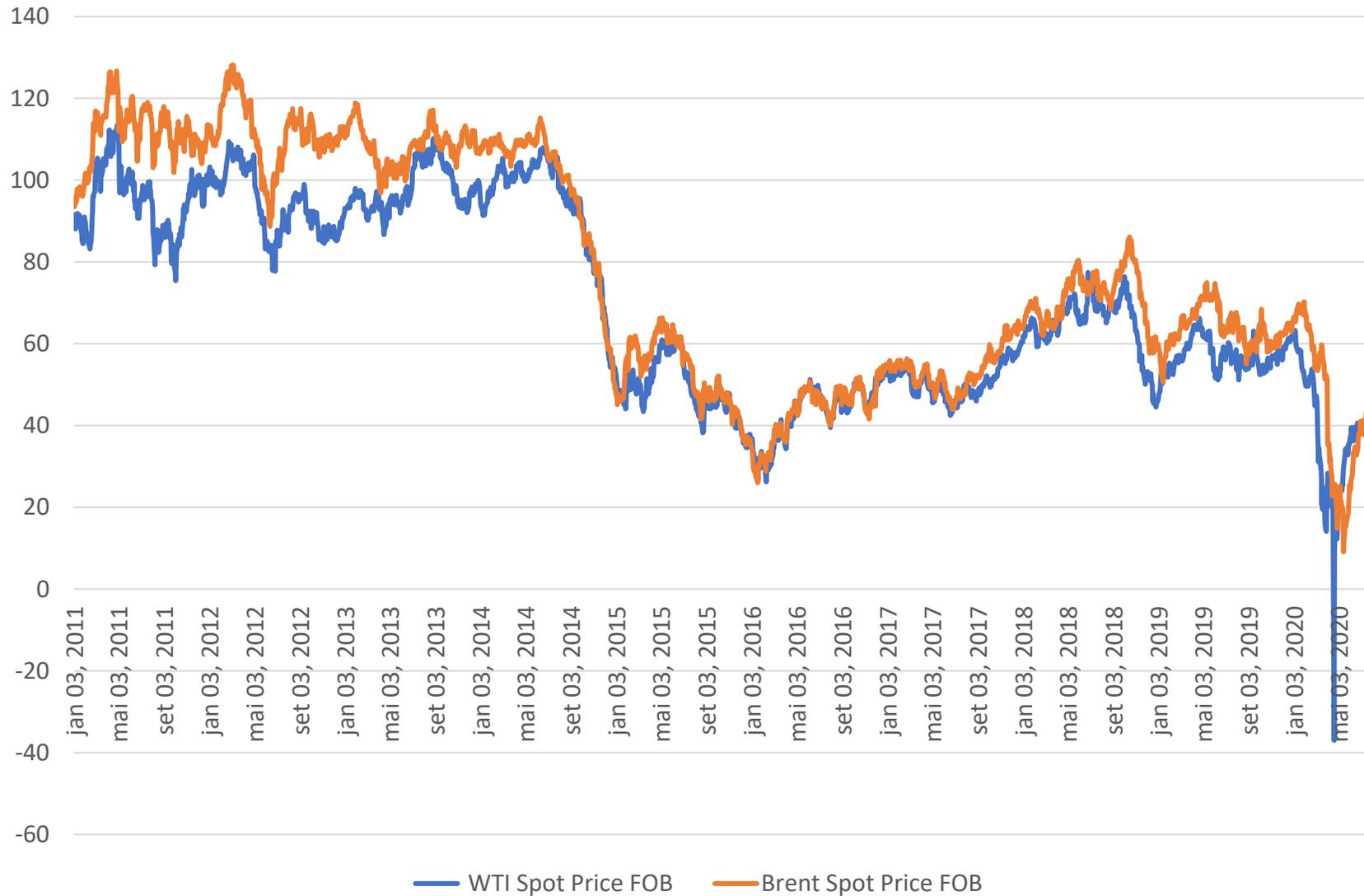
- 危機委員会の設置（”健康”と”流動性及びコスト削減”を担当する2つのチームを組成）
- 従業員の健康
 - ✓ 従業員とサプライヤーの135,000人のうち120,000人以上のテストを実施（7/31末時点）
 - ✓ 24,000人以上がホームオフィス（2020年12月まで実施）
 - ⇒将来も管理部門の50%をホームオフィスに（ただし、週3回まで（企業文化の浸透、チームビルディング、若い世帯のメンタリグ 等のため））
 - ✓ データインテリジェンスを使ったリアルタイムモニタリング
 - ✓ FPSO勤務に対する特別な対応：自宅隔離、空港でのメディカルチェック 等
 - ✓ ルーチン業務の調整、清掃強化、また、90,000リットル以上のアルコールジェルの用意
 - ✓ 現場に250万を超えるフェイスマスクの配布
 - ✓ 現場に戻るスタッフの厳格なチェック

⇒現場は、60歳以上もしくは基礎疾患を有する人などを除いて通常の勤務シフトに戻りつつある。ただし、新たな感染リスクを最小限にすべく必要なディスタンスを保つなどの対策を実施
- 社会貢献
 - ✓ テストキット、医療品、衛生品公立病院の車両燃料のためのディーゼル、ガソリンの寄付やヘルス分野のイノベーションのために科学者や高性能コンピューターを利用
 - ✓ 低所得者層への食料、LPGの寄付

Petrobras– COVID-19へ対応策（コスト削減）

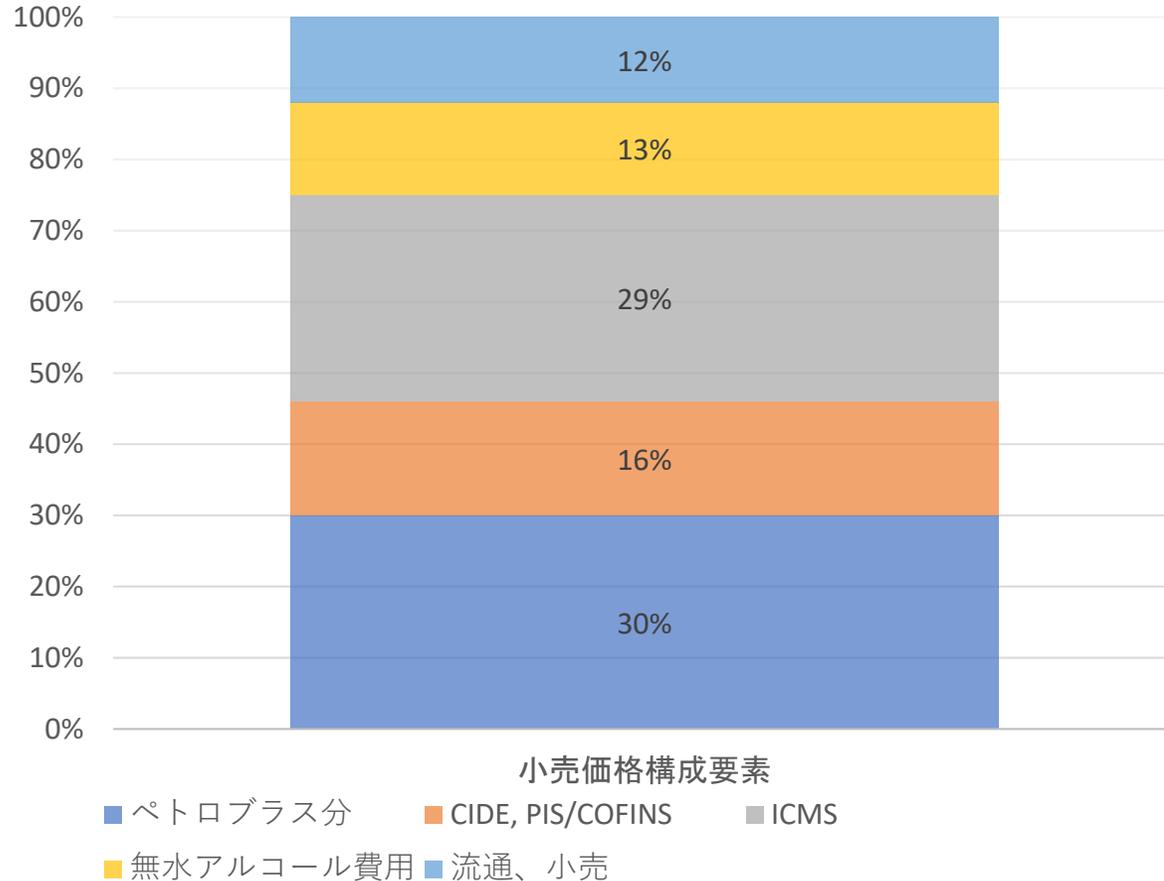
- CAPEX予算の削減(120億ドル⇒85億ドルへ)
- 20億ドル以上のコスト削減
 - ✓ ロジスティクスとセールスチームの協力で原油と低硫黄燃料油の輸出を最大限にしブラジルの燃料需要の大幅な落ち込みをカバー
 - ✓ 10,000人以上の従業員（全従業員の約22%）が希望退職に同意しており、2020年及び2021年度に退職予定。これにより約8億ドルのコスト削減が可能
 - ✓ 執行部の合理化により年間2億ドル以上のコスト削減を見込む
 - ✓ 現在ある17の管理棟（2018年は23棟）を2021年1Qまでには8棟へ削減し、2021年には30百万ドルのコスト削減を見込む
 - ✓ 非効率及びロジスティクス費用の削減を実施。現在の45倉庫を25までに削減。（在庫の減少、保管スペースの合理化等）等
- 配当や役員報酬、年間ボーナスなどの支払時期の延期

Petrobras- 原油価格推移 (参考情報)



Resource: Petrobras US Energy Information Administrationからデータを入力し加工

Petrobras- ガソリンにかかる税金 (参考情報)



Resource: Petrbras HPより(2020/7/19から2020/7/25の期間を反映)

	GASOLINA	DIESEL	ETANOL
ICMS	25% - 34%	12% - 25%	25% - 32%
PIS/COFINS	R\$0.7925/ ℓ (Gasolina A)	R\$0.3515/ ℓ (Diesel A)	R\$0.1309/ ℓ (Producer) R\$0.1109/ ℓ (Distributor)
CIDE-FUEL	R\$0.100/ ℓ (Gasolina A)	0	0

Resource: ガソリン販社連盟(Fecombustiveis) HPより(8/1/2020 – 8/15/2020)

Petrobras- 2Q/20財務情報ハイライト

単位：百万リアル

	2020 2Q	2019 2Q	2020 1Q	2020 6M	2019 4Q (年間)
純売上高	50,898	72,567	75,469	126,367	302,245
売上原価	(32,680)	(42,357)	(43,854)	(76,534)	(180,140)
SGA	(8,109)	8,558	(75,616)	(83,725)	(40,951)
営業利益	10,109	38,768	△44,001	△33,892	81,154
営業利益率	19.9%	53.4%	△58.3%	△26.8%	26.9%
税前利益	△3,288	30,661	△66,618	△69,906	47,242
純利益	△2,813	19,050	△49,724	△52,537	40,970
営業CF	29,310	20,500	34,991	64,301	101,766
投資CF	△11,905	31,173	△6,664	△18,569	△7,952
財務CF	3,616	△21,429	12,799	16,415	△126,336
現金残高	106,598	64,052	80,382	-	29,714
金融債務	379,551	289,432	346,762	-	254,982
総資産	1,015,142	965,248	971,645	-	926,011
純資産	245,721	309,418	234,925	-	299,137

Petrobras- 2Q/20業績ハイライト (売上)

百万リアル	2020 2Q	2019 2Q
ディーゼル	13,516	23,334
ガソリン	4,915	10,191
LPG	3,782	4,276
ジェット燃料	409	3,711
ナフサ	1,372	1,862
燃料油 (バンカー油含む)	659	1,014
その他	2,694	3,265
石油製品売上合計	27,347	47,653
天然ガス	3,926	5,558
その他	2,469	2,241
国内販売合計	33,742	55,452
輸出	14,973	15,439
海外子会社売上	2,183	1,676
海外売上合計	17,156	17,115
売上合計	50,898	72,469

- COVID-19及び原油価格の大幅な下落の影響を大きく受けている。ブレント原油価格は四半期比比較で29%下落し、また、ソーシャルディスタンスにより国内の需要が8%縮小。その結果、リアル安により緩和されるも、ディーゼル、ガソリン、ジェット燃料及び原油の輸出が大きく減少。ただし2Q末時点で輸送中の原油が38百万バレルあり。
- 当2Qの原油輸出は殆どが中国 (87%。1Qは中国向け48%)
- コストは、需要減少による輸入の減少、原油価格下落による原油に対する生産税が減額するも (9,067⇒3,678)、その他コストが増加 (11,828⇒14,997)

Petrobras– 2Q/20業績ハイライト

SGA

- 2020/1Qにて多額の減損損失を計上（653億レアル）
- 2020/2QでPIS/COFINSの計算でICMSを除くことにつき裁判所から有利な判決を得たことからこれに関して72億レアルを計上（2001/10から2020/6まで）。また、Tupiエリア及びSepia, Atapu鉱区の個別合意にもとづく費用均等化により利益計上(44億レアル)
- その他、2020/2Qで希望退職者関連費用（2020/2Qに6,882人が参加。48億レアルの引当金。合計で10,312人が参加）の計上やコモディティや原油輸出に関するヘッジ費用（27億レアル）を計上している。
- 2019/2Qでは、TAGの売却益214億レアルや鉱区売却で減損損失の戻しにより19億レアルを計上しており、前年同期比比較では、SGAは、166億レアル増加

金融損益

- PIS/COFINSの計算でICMSを課税標準から除いたことの影響で金融債権の調整額93億レアルの計上
- 2020/2Qで為替差損 107億レアル計上

全般

- Non-recurring(非経常) 項目を除いた経常的EBITDAは、2020/2Qは177億レアルとなり、2019/2Q 334億レアル及び2020/1Q 369億レアルと比較し大幅に下落。（COVID-19の影響）

Petrobras— 1Q/20の減損損失

減損損失認識に至った背景

1. COVID-19パンデミックの影響を受け、石油の需要、供給ともに大幅な縮小
2. OPEC加盟国間での減産調整が不調に終わり、その結果、急激な原油価格の下落

減損損失計上の前提

1. 原油価格 (Brent)

	2020	2021	2022	2023	2024	長期的
Brent平均価格(USD/バレル)	25	30	35	40	45	50

Resource: Petrobras Financial Performance 1Q20

為替レートについても見直ししている者の数値開示なし

2. 需要サイドのゆっくりとした回復

- ✓ 消費者の行動様式変更に伴う経済構造の変化
- ✓ 世界的な原油在庫の積み上げ
- ✓ 新たなシナリオを考えた場合、長期的なオイル需要の減少

減損損失の計上

資産	減損損失金額 (百万リアル)	補足
E&P 生産鉱区	57,619	Roncador, Marlim Sul, Northグループ、Albacora Leste, Berbigao-Aururuグループ、CVITグループ、Mexilhãoといった鉱区
E&Pシャローウォーター鉱区	6,625	採油費コストが高く、簿価全額を減損損失計上(再開を見込めない地域)
その他	1,057	
合計	65,301	

Resource: Petrobras Financial Performance 1Q20

Petrobras– 2Q/20投資(CAPEX)

単位：百万ドル

	2020 2Q	2019 2Q	2020 1Q	2020 6M	2019 6M
E&P	1,609	2,112	2,139	3,749	4,088
製油所	239	316	171	411	552
ガス&パワー	53	86	86	138	155
その他	35	39	37	72	78
合計	1,937	2,553	2,433	4,370	4,873

Resource: Petrobras Financial Performance 2Q20

E&P投資内容

- Santos Basinプレソルトのウルトラディープウォーターの生産開発（8億ドル）、探鉱開発(2億ドル)、ディープウォーターの新規プロジェクトの開発(2億ドル)

E&P主なプロジェクト

Unit	開始時期	FPSO 能力 (BBL/日)	CAPEX支出額(10 億ドル)-Petrobras	CAPEX合計(10億 ドル)-Petrobras	Petrobras持ち分
FPSO Carioca Sepia 1	2021	180,000	0.5	3.1	97.6%
FPSO Guanabara Mero 1	2021	180,000	0.2	1.1	40%
FPSO Alm. Barroso Buzios 5	2022	150,000	0.2	3.0	100%
FPSO Anita Garibaldi Marlim 1	2022	80,000	0.08	2.3	100%
FPSO Anna Nery Marlim 2	2023	70,000	0.02	1.8	100%
FPSO Sepetiba Mero 2	2023	180,000	0.02	1.1	40%

Resource: Petrobras Financial Performance 2Q20

Petrobras- ポートフォリオマネジメント (資産売却)

コアビジネスに焦点あて、リターンの低い資産を売却し投資の再配分を行い、有利子負債の返済、資本コストの削減を行う。

署名済み取引

資産	取引金額 (百万ドル)	2020年度現金受取 金額 (百万ドル)
PO&G BV(2018年署名済)	1,530	301
Polo Tucano Sul	3.01	0.6
Polo Macau	191.1	124.8
Polo Pescada Arabaiana	1.5	0.3
Polo Pampo Enchova	418.6	365.4
TAG	205.1	205.1
Ponta do Mel e Rodona	7.2	0.2
合計	2,356.5	997.4

Resource: Petrobras Financial Performance 2Q20

- 2020/2Qでは、Macauの売却を実施。2020/3Qの7/22/2020までにTAG(10%)及びPampo Enchovaの売却を実施し、また、Pescada群についても売買契約成立済。

売却対象案件

Non-binding	Binding
UFN-III	GASPETRO
Oil and Gas Thermoelectric Plants	製油所 (RLAMなど8製油所)
PBIO	ウルグアイ資産(PUDSA)
Shallow water fields (BA)	Deep-water 鉱区
Onshore fields (AM)	オンショア 鉱区
Onshore and shallow water fields (AL)	シャローウォーター 鉱区
Shallow water fields (CE)	Papa Terra 鉱区
Deep water fields (SE)	NTS (10%)
Exploration Block (Tayrona) Colombia	コロンビア資産
	Mangue Seco 風力発電所

Resource: Petrobras Financial Performance 2Q20

- 製油所については、RLAMについては、最終購入予定者と交渉中であり、その他についても期日を遅らせたものの数ヶ月以内には交渉再開し、1Q/2021までには署名し、2021年度末までには取引を完了する見込み

Petrobras— E&P事業

百万リアル	2020/2Q	2019/2Q	2020/1Q
売上	27,691	49,649	47,575
売上総利益	8,801	22,878	21,351
営業利益	9,590	20,665	△44,616
平均ブレント原油価格 (US\$/bbl)	29.20	68.82	50.26
ブラジル原油販売価格(US\$/bbl)	23.98	64.79	49.96
採油費(US\$/BOE) (生産税を除く)			
平均採油費 (リース料含む)	6.59	10.43	7.51
オンショア	13.41	19.50	16.69
シャローウォーター	20.28	31.64	29.77
ディープウォーター及びウルトラディープポストソルト	10.23	13.63	10.72
プレサルト	4.17	6.03	4.52
生産税含む平均採油費 (リース料含む)	10.56	23.17	14.47
生産税	5,005	13,705	8,200

Resource: Petrobras Financial Performance 2Q20

- 2020/2Qの売上総利益率の減少は主にブレント価格の下落に伴う販売価格の下落によるもの
- 2020/2Qの営業利益は、主にTupiエリア及びSepia, Atapu鉱区の個別合意にものづく費用均等化により利益計上により増加(44億リアル)
- 2020/2Qの採油費の主な減少は、リアル安に伴うもの及び2020/1Qの減損損失計上により償却費負担減少によるもの。また、ブジオス鉱区の生産プラットフォームの新たなシステムにより、操業費の削減。

Petrobras— 石油精製事業

百万リアル	2020/2Q	2019/2Q	2020/1Q
売上	44,326	65,399	68,160
売上総利益	4,491	6,078	△2
営業利益	△2,575	1,438	△4,082
製油コスト (R\$/バレル)	9.68	10.14	9.87
国内石油製品価格(R\$/bbl)	197.73	307.87	286.63

Resource: Petrobras Financial Performance 2Q20

- ブレント価格の急落により、1Qでは67億リアルの在庫取引損を計上。なお、2Qでは、当該損失は25億リアル。
- 2020/2Qのでは、COVID-19パンデミックにより特にディーゼル及びJET燃料の-margin及び販売数量が低下。
- 一方で操業費用は低下。ただし、2020/2Qでは、計画外製油所メンテナンスの実施、希望退職費用等も計上。

Petrobras– その他取組み

- TOTUS technologyを用いてポストソルトのGolfinho油田の井戸の建設を実施。掘削し、井戸を建設するのに掛かった所要時間は44日間でコストを半減することに成功。
- EXP-100, PROD-1000、PEP-70、そしてHISEPといったE&P(Exploration & Production)のイノベーションプロジェクトは進展しており、成功すれば、損益分岐点となる価格を大きく下げる可能性あり
- Digital Twinプロジェクトが製油所で導入され、効率性の向上により、年間154百万ドルの収益を見込む
- Digital Transformationは将来のペトロブラスのKey
 - ✓ コスト削減、効率化、GHG排出効果ガス削減、安全のためのプロジェクトを実施
 - ✓ その他、94にも及ぶRPAを導入し手動もしくは反復作業を自動化
 - ✓ デジタルトランスフォーメーションとAIを実施するために高性能PCの容量は2018年度比で7倍

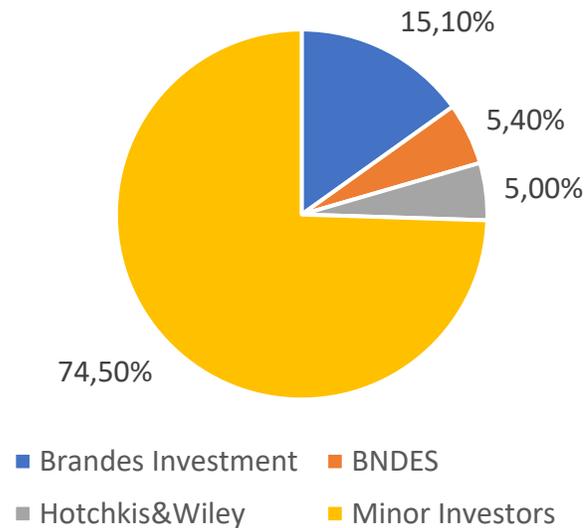
EMBRAER S.A.

Embraer- 会社概要

- 1969年に設立。
- 従業員数：18,000名（2019年12月時点）
- 短期的な戦略の柱

1. スリムな組織（Lean Organization）
2. 事業計画の見直し
3. シナジーの再獲得
4. キャッシュアウトの抑制
5. 従業員の健康・安全の保証

➤株主構成（2020年7月）



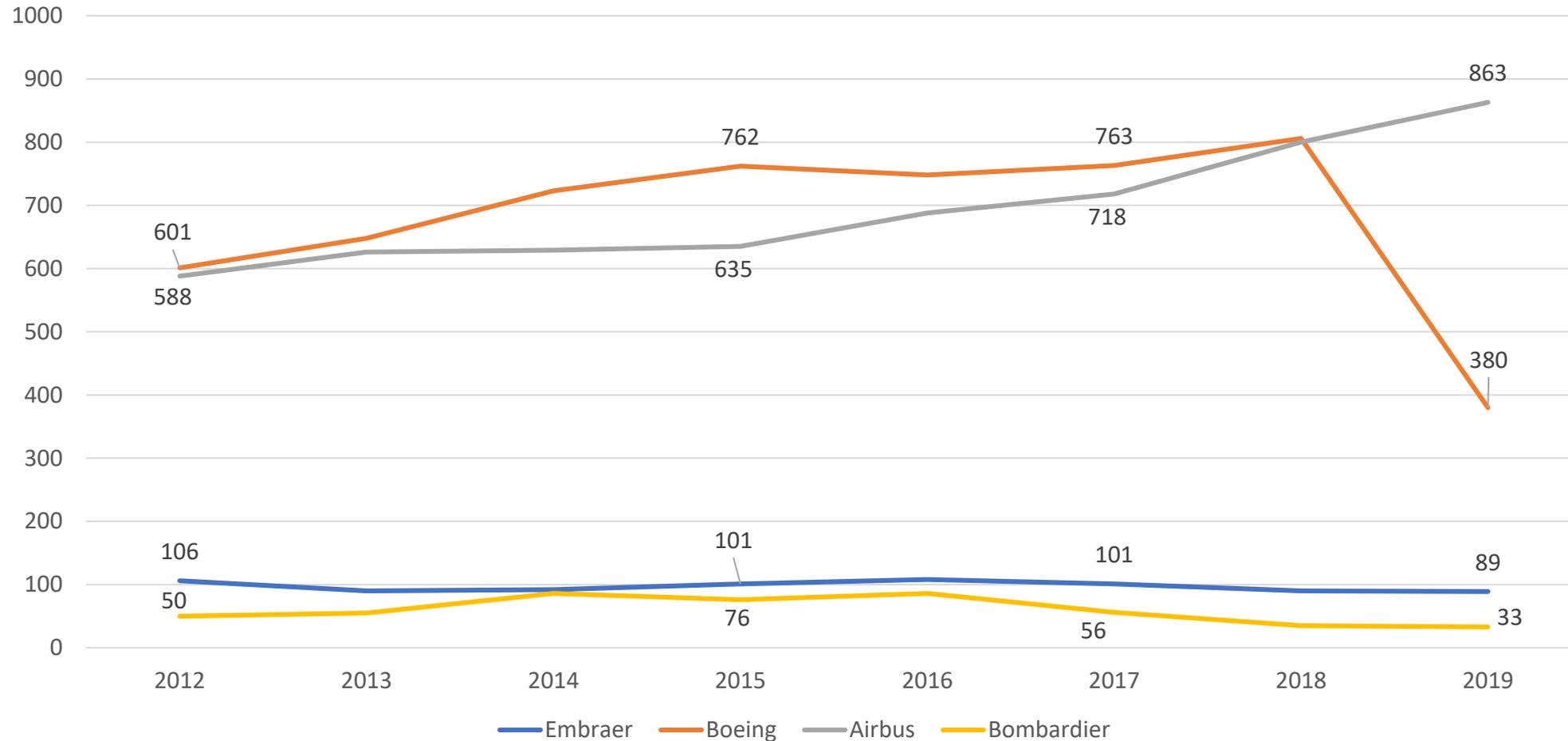
*ブラジル政府はGolden Shareを保有しており、買収に対する拒否権を持つ

➤主な事業：

- 民間旅客機（E-Jetシリーズ）
- ビジネスジェット機（Phenom、Legacy、Praetor）
- 軍用機（C-390、Tucanoシリーズ）
- 航空機のメンテナンスサービス

Embraer – マーケットシェア

民間旅客機の年間納入数



Embraer- 2Q/20財務情報ハイライト (リアル (参考))

単位：百万リアル

	2020 2Q	2019 2Q	2020 1Q	2020 6M	2019 4Q (年間)
純売上高	2,864	5,402	2,875	5,739	21,802
営業利益	△1,822	101	△209	△2,031	△310
税前利益	△2,083	△28	△485	△2,569	△741
純利益	△1,667	34	△1,270	△2,937	△1,294
営業CF	△2,687	102	△2,510	△5,198	3,749
投資CF	71	247	1,034	1,106	1,588
財務CF	△256	△53	2,286	2,030	△1,026
現金残高	10,255	3,278	12,448	-	9,301
金融債務	20,891	14,859	20,007	-	13,744
総資産	56,541	43,202	57,438	-	42,615
純資産	16,320	14,984	17,075	-	14,570

Resource: Release de Resultados Trimestrais (2Q2019, 4Q2019, 1Q2020 and 2Q2020)

Embraer- 2Q/20財務情報ハイライト (ドル)

単位：百万ドル

	2020 2Q	2019 2Q	2020 1Q	2020 6M	2019 4Q (年間)
純売上高	537	1,379	634	1,171	5,463
営業利益	△342	27	△47	△389	△77
税前利益	△390	△6	△108	△498	△186
純利益	△313	9	△291	△603	△317
営業CF	△501	27	△593	△1,095	894
投資CF	15	66	262	277	408
財務CF	△34	△15	445	411	△257
現金残高	1,873	856	2,394	-	2,308
金融債務	3,821	3,878	3,849	-	3,410
総資産	10,325	11,273	10,856	-	10,573
純資産	2,980	3,910	3,284	-	3,615

※ Embraerの機能通貨はドルのためドルの数値を掲載 (以後同じ)

Resource: Embraer Quartely Earning Release (2Q2019, 4Q2019, 1Q2020 and 2Q2020)

Embraer – 2Q/20業績ハイライト（セグメント別売上）

単位：百万ドル

セグメント	2020/2Q	2019/2Q	2020/1Q	2020 6M
民間旅客機	108.6	630.5	139.0	247.6
ビジネスジェット	149.9	297.0	129.4	279.3
防衛	85.8	141.5	102.3	188.1
メンテナンスサービス	191.9	309.1	261.8	453.7
その他	1	0.6	1.3	2.3
合計	537.2	1,379.7	633.8	1,171.0

Resource: Embraer Quartely Earning Release (2Q2020)

Embraer – 2Q/20業績ハイライト

- 2020/2Qでは、民間旅客機4機及びプライベートジェット13機を納入（前年同期は、民間旅客機26機、プライベートジェット機25機）。バックログは、合計154億ドル。(2019/4Q末では168億ドル)
- 非資金項目として以下の項目が損益に含まれている
 - COVID-19パンデミックによる予想損失に対する追加引当金 16.1百万ドル
 - 民間旅客機事業の減損損失 91.1百万ドル
 - 民間旅客機事業の過年度減価償却費の計上 101.2百万ドル（過年度は売却可能資産へ区分されていた）
 - パブリックエアウェイズの株式評価益 6.5百万ドル
- COVID-19パンデミック等により債権に対する予測損失計上（2020上期 55.7百万ドル（2020/2Qでは19.3百万ドル）
- 特に民間旅客機部門ではレイオフ、給料削減、その他の行動によりコスト削減に務めるものの、COVID-19パンデミックによる影響は固定費を吸収出来ず。
- ボーイングとの統合解消に伴う分離費用も計上(2020上期で44百万ドル)
- 資金流動性は堅調。2020/2Q末の現金預金残高は18億ドル、債務の満期返済期日は2022年以降。また新たなクレジット・ラインも締結(700百万ドル)。さらにCAPEX投資などを抑制。（有利子負債の平均借入期間は3.8年でドル建借入の平均利率は4.89%。なお、レアル建ての利率は0.85%）
- 引続きCOVID-19パンデミックによる不確実な状況が続いているため、2020年通期の業績予想は困難

Embraer – 2Q/20業績ハイライト（民間旅客機）

➤ 民間旅客機

- ✓ パンデミックによる航空業界への壊滅的な影響（IATA予想によると、今年の世界のフライト数は前年比で55%の下落）によって航空会社から納入延期の申し出が来ており（キャンセルは無し）、またBoeingとの統合により同セグメントの分離が進められていた影響で、2Qの納入機数はわずか4機に留まった（19年2Qは26機）
- ✓ 一方で、主要市場である米国では7月15日時点でE-175の稼働率（全機のうち、実際にフライトしている機体数）が90%まで回復しており、一定の回復が見られている
- ✓ 需要減に伴い、新型機E175-E2の運航開始を2021年から2023年に延期

➤ バックログ

航空機	確定注文	オプション	合計	納入済	確定バックログ
E170	191	-	191	191	-
E175	798	291	1,089	639	159
E190	568	-	568	564	4
E195	172	-	172	172	-
E190-E2	25	63	88	14	11
E195-E2	148	47	195	8	140
合計	1,902	401	2,303	1,588	314

Embraer – 2Q/20業績ハイライト（民間旅客機）

Boeingと統合について

- 20年4月25日にBoeing側は、Embraerが合意内容を期限までに遵守しなかったとして一方的に合意を破棄。Embraerはこれを不服として、仲裁所へ申立てを行っている。
- 予定していたBoeingとの統合が解消されたことにより、既に進めていた合併体制を元に戻す取り組みを進めている（新CEOの就任、副社長3人の退社、重複していたマネージャー職位を見直し等）
- Boeingとの統合予定によって2019年2月16日から中止していた民間旅客機セグメントの減価償却を、遡及して2Qに計上
- Boeingとの統合解消に伴う分離費用を2020年上期で44百万ドル計上（前期は31.8百万ドル）（2020/2Qでは、22.2百万ドル、2019/2Qは19.5百万ドル）

Embraer – 2Q/20業績ハイライト

▶ ビジネスジェット機

- ▶ プライベートフライトは4月に底を打って（世界のフライト数：前年比65%減）からV字回復を遂げており、6月時点で前年比23%減まで持ち直している。20年2Qは13機を納入（19年2Qは25機）
- ▶ 改良機Phenom300E の初納入、また患者移送用として改装されたPhenom 300MEDの発売を開始
- ▶ キャンセル・納入延期はわずかにとどまっており、20年下期以降は好業績を予想

▶ 防衛

- ▶ 輸送機KC-390の生産を継続中、ブラジル空軍向けの28機のうち3機目を納入。ポルトガル空軍向けのKC-390は組立中（現在製造ラインには5機 4機がブラジル空軍向け、1機がポルトガル空軍向け）。
- ▶ その他のプロジェクトも順調に進行中（ブラジル陸軍共同の国境線監視システムSISFRON、レーダー生産、民間向けの衛生写真による地域モニタリング）
- ▶ サイバーセキュリティ分野の企業を2社買収（金額非公表）

Embraer – 2Q/20業績ハイライト

▶ メンテナンスサービス

▶ COVID-19を受けて、新たに必要とされるサービスを提供している

- 機内の殺菌作業
- フライト数を抑えている航空機に対する最適化されたメンテナンス
- メンテナンスクルーへのリモート研修
- 納入機のバーチャル検査
- 商用機を貨物機へ転換するサービス、など
- 運用コスト低減のため、既存ビジネスジェット機の航続距離を延長する改造サービス

▶ 航空機メンテナンス契約を新たに12件獲得

▶ 航空機販売の低迷により、今では売上の主力セグメントとなっている

Embraer - COVID-19の影響及び対応策

事業への影響

- COVID-19は特に民間航空会社への打撃が大きく、各社とも大幅な需要減、フライト数の飽和、現存処理及び合併などに見舞われている。これによりエンブラエルは主力製品であった民間旅客機販売の大幅減少の影響を受けている
- 2021-2025年の事業計画を見直しており、全セグメントで増収を見込んでいるが、特に2019年に生産開始した新型輸送機KC-390の軍用機セグメントへの期待が大きく、既にいくつかのカスタマーと協議中
- 軍用機セグメントでは、パンデミックにより一部のサプライヤーから部品不足が発生したケースがあり、また他のサプライヤーでも部品納品のリードタイム延期が発生。ビジネスジェット機・民間旅客機では同様の問題は発生していない

社員の健康及びキャッシュ保全のために、以下の取り組みを行っている：

- テレワークの実施。リモートワークが困難な社員に対しては有給を付与
- 製造工場を4月1日から9日まで一時閉鎖し、WHOガイダンスに準じた安全対策を現場に実施
- MP936（政令14022号）の勤務時間短縮及び契約中断を適用、集団休暇及びレイオフも実施
- 希望退職制度の実施を計画（レイオフ、55歳以上または年金受給者が対象、予想参加人数は不明）
- 生産計画の最適化
- サプライヤーへの代金支払いの延期について合意
- 税金の支払い延期
- 輸出製品用の運転資金としてBNDESからUSD3億、複数の銀行からUSD3.15億の合計USD6.15億を確保

Embraer – その他取組み

社会貢献

- ▶ UNESP（サンパウロ州立大学）に400万リアルを提供し、同大学がエンブラエルの周辺コミュニティに対して凡そ4万のCOVID-19検査を行えるように支援
- ▶ エンブラエルが所在する地域の病院に対して、空気清浄システムATMUSを50個無償提供。同システムにより、普通の病床に集中治療室と同等の空気清浄能力を付与可能。
- ▶ 呼吸器に使われる部品の製造及び提供

ご清聴ありがとうございました。